

伊豆東岸定置網における主要魚種の

令和2年下半期の漁況経過と令和3年上半期の漁況予測

1 令和2年下半期(7~12月)の経過

(1) 総漁獲量

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における令和2年7~12月の魚種別月別漁獲量を表1に示しました。総漁獲量は1,470トンで、前年(1,139トン)の1.3倍、平年(昭和57~令和元年の平均:1,846トン)の80%でした。

(2) 魚種別漁獲量

(ア) ブリ

ブリ(ぶり、わらさ、いなだ、わかし)の漁獲量は53.8トンで、前年比46%、平年比72%でした。銘柄別にみると、ぶりは0.3トンで、前年比36%、平年比3%でした。わらさは3.5トンで、前年比83%、平年比18%でした。いなだは9.8トンで、前年比3.0倍、平年比38%でした。わかしは40.2トンで、前年比37%、平年比1.8倍でした。

漁獲されたブリは、7月は尾叉長20cm前後および45~50cm、8月以降は30~40cmでした。

(イ) マアジ

マアジ(じんだ:小型当歳魚銘柄を除く)の漁獲量は34.9トンで、前年の1.2倍、平年の27%でした。じんだ(小型当歳魚)の漁獲量は2014年以降、1トンを下回る極めて低調な漁獲でしたが、2019年に3.6トンに増加し、2020年も3.7トンと前年並みの漁獲(前年比1.0倍、平年比14%)となりました。

漁獲されたマアジは、7月は尾叉長11~13cmにモードがあり、2020年級群(0歳魚)と考えられました。これらは11月には16~18cmモードに成長しました。

(ウ) サバ類

マサバの漁獲量は18.2トンで、前年比78%、平年比1.1倍であり、11~12月を除き、いずれの月も平年を下回りました。漁獲されたマサバは尾叉長30~35cmでした。

一方、ゴマサバの漁獲量は539トンで、前年比2.0倍、平年比1.2倍でした。いずれの月も前年並み~前年を上回る漁獲でした。漁獲されたゴマサバは、7~8月は尾叉長30~35cm、9月は30~35cmおよび20~25cm、10月は25~30cm、11月は25~30cmおよび35cm前後、12月は30~35cmであり、昨年に比べて9~11月は尾叉長25~30cmに明確なモードが認められました。

さばっこ（ゴマサバ、マサバの小型当歳魚銘柄）の漁獲量は136トンで、前年比5.2倍、平年比4.0倍でした。

表1 伊豆東岸大型定置7か統月別漁獲統計 (kg)

| 魚種名(銘柄) | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 総計 |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| ブリ(ぶり) | 23 | 0 | 17 | 17 | 17 | 192 | 266 |
| ブリ(わらさ) | 2,059 | 316 | 27 | 154 | 142 | 804 | 3,501 |
| ブリ(いなだ) | 2,327 | 1,158 | 413 | 3,138 | 1,822 | 919 | 9,777 |
| ブリ(わかし) | 6,981 | 3,962 | 5,576 | 4,714 | 16,043 | 2,975 | 40,249 |
| ヒラマサ | 22 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 22 |
| カンパチ | 198 | 272 | 1,523 | 3,413 | 2,907 | 768 | 9,080 |
| マサバ | 2,016 | 172 | 1,489 | 610 | 2,633 | 11,299 | 18,220 |
| ゴマサバ | 83,445 | 86,598 | 211,098 | 70,874 | 35,428 | 51,899 | 539,342 |
| さば類(さばっこ) | 282 | 0 | 107,833 | 22,986 | 3,205 | 1,222 | 135,526 |
| マイワシ | 8,593 | 2,754 | 5,314 | 29,475 | 4,663 | 3 | 50,802 |
| カタクチイワシ | 5,647 | 5,000 | 2,635 | 0 | 0 | 200 | 13,482 |
| ウルメイワシ | 15,488 | 30,652 | 2,324 | 17,670 | 15,178 | 417 | 81,729 |
| マアジ | 6,339 | 6,356 | 3,610 | 8,194 | 4,564 | 5,860 | 34,923 |
| マアジ(じんだ) | 2,484 | 491 | 659 | 26 | 0 | 0 | 3,660 |
| マルソウダ | 4,737 | 20,991 | 12,258 | 65,515 | 13,018 | 19,269 | 135,787 |
| ヤマトカマス | 4,465 | 4,744 | 32,522 | 29,046 | 2,823 | 279 | 73,878 |
| シラ | 823 | 1,432 | 10,621 | 32,001 | 6,127 | 747 | 51,750 |
| クサヤモロ | 389 | 8,376 | 20,630 | 4,552 | 3,232 | 349 | 37,528 |
| イサキ | 13,309 | 6,727 | 1,818 | 7,858 | 822 | 1,237 | 31,770 |
| ウスバハギ | 21 | 76 | 6,187 | 11,678 | 3,430 | 3,569 | 24,962 |
| ヒラソウダ | 69 | 74 | 454 | 12,517 | 4,571 | 3,830 | 21,514 |
| オアカムロ | 0 | 3,067 | 5,248 | 2,582 | 7,372 | 1,591 | 19,859 |
| ムツ | 4,226 | 3,127 | 3,707 | 3,398 | 2,412 | 620 | 17,490 |
| アカカマス | 195 | 116 | 1,288 | 5,005 | 4,744 | 4,882 | 16,230 |
| ムロアジ | 2,348 | 1,519 | 798 | 2,013 | 5,054 | 532 | 12,263 |
| マルアジ | 610 | 161 | 160 | 5,580 | 569 | 4,342 | 11,422 |
| トビウオ | 4,180 | 686 | 377 | 82 | 52 | 61 | 5,438 |
| カマスザワラ | 29 | 323 | 794 | 2,967 | 855 | 188 | 5,157 |
| メアジ | 633 | 210 | 171 | 1,476 | 1,155 | 1,287 | 4,932 |
| フグ類 | 962 | 75 | 4 | 141 | 399 | 2,165 | 3,744 |
| ウマヅラハギ・大中 | 23 | 25 | 1,046 | 2,066 | 28 | 94 | 3,282 |
| サワラ | 64 | 45 | 16 | 66 | 262 | 2,685 | 3,138 |
| クロマグロ | 273 | 43 | 156 | 89 | 627 | 1,517 | 2,706 |
| スルメイカ | 2,178 | 2,523 | 678 | 298 | 5,426 | 5,313 | 16,416 |
| スルメイカ(こいか) | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| ヤリイカ | 145 | 69 | 65 | 64 | 169 | 184 | 696 |
| アオリイカ | 131 | 5 | 64 | 406 | 467 | 856 | 1,929 |
| その他 | 3,590 | 2,562 | 4,204 | 4,681 | 5,578 | 7,047 | 27,662 |
| 総計 | 179,307 | 194,706 | 445,782 | 355,350 | 155,793 | 139,196 | 1,470,134 |

2 主要魚種の令和3年上半期(1～6月)の見通し

主要魚種の令和3年上半期の見通しについて、太平洋いわし類マアジさば類長期漁海況予報会議および相模湾定置網漁海況予測協議会での協議事項をもとに取りまとめた結果について表2に示します。

表2 伊豆東岸大型定置における令和3年上半期の漁況予測

| | |
|---------|--|
| マアジ | 来遊量は前年並み（前年上半期漁獲量：45トン）。 魚体は尾叉長15～20cm。 |
| マサバ | 来遊量は前年を上回る（前年上半期漁獲量：90トン）。 魚体は尾叉長30～35cm。 |
| ゴマサバ | 来遊量は前年並み（前年上半期漁獲量：292トン）。 魚体は尾叉長30～35cm および25～30cm。 |
| マイワシ | 来遊量は前年並み（前年上半期漁獲量：616トン）。 魚体は被鱗体長13～15cm および20cm前後。 |
| カタクチイワシ | 来遊量は前年並み（前年上半期漁獲量：63トン）。 魚体は被鱗体長9～11cm。 |
| ブリ | 来遊量は前年並み（前年上半期漁獲量：278トン）。 銘柄ぶり・わらさ主体。 |

マアジ

近年、マアジ太平洋系群の資源量は低調に推移しています。伊豆東岸定置網における漁獲量についても、2010年頃より減少傾向で推移しており、近年は、不漁であった1980年代と同レベルの低水準となっています。じんだについては2014年以降、1トンを下回る極めて低調な漁獲でしたが、2019年以降、数トンレベルのまとまった漁獲があります。

例年、上半期は尾叉長15～20cmの1歳魚主体に漁獲されています。上半期の漁獲量は、前年の0歳魚漁獲尾数と比例関係にあり、2020年上半期の0歳魚漁獲尾数は前年を上回りましたが、資源は依然低調であることを加味し、今期の来遊量は前年並みと予測しました。

マサバ

マサバ太平洋系群資源量は近年増加傾向で推移しています。伊豆東岸定置網では、2001年以降、上半期は概ね尾叉長30～35cm主体に漁獲されています。上半期漁獲量は2018年に急増し、その後は減少傾向にありますが、資源量は増加傾向を示していることから、今期の来遊量は前年を上回ると予測しました。

ゴマサバ

近年、ゴマサバ太平洋系群資源量は減少傾向で推移していますが、伊豆東岸定置網における漁獲量は横ばいで推移しています。

2001年以降、上半期は概ね尾叉長30～35cm主体に漁獲されていますが、2020年秋頃から若齢魚の割合が増加するなど漁獲動向に変化が見られたことから、今期は漁獲物に占める25～30cmの割合も高いと考えられました。また、上述の近年の資源状況および伊豆東岸定置網における漁獲動向から、今期の来遊量は前年並みと予測しました。

マイワシ

マイワシ太平洋系群の資源量は近年増加傾向で推移しており、伊豆東岸定置網における2019年上半期の漁獲量は前年を上回りました。

例年、上半期は被鱗体長13～15cmの1歳魚主体に、18cm以上の2歳魚以上も漁獲されています。太平洋沿岸における2歳魚以上の残存資源の豊度は高く、海況次第（暖水波及等）では相模湾内への来遊が期待できることから、今期の来遊量は前年並みと予測しました。

カタクチイワシ

カタクチイワシ太平洋系群資源量は減少傾向で推移しており、伊豆東岸定置網における漁獲量も低調に推移しています。

例年、上半期は1歳魚（被鱗体長9～11cm）主体に漁獲されています。カタクチイワシの資源水準は低く、また、伊豆東岸定置網における2020年の漁獲量も低調であったことから、今期の来遊量は前年並みと予測しました。

ブリ

ブリ太平洋系群資源量は近年高水準で推移していますが、伊豆東岸定置網における漁獲量は2015年をピークに減少傾向にあります。

例年、上半期はぶり・わらさ銘柄主体に漁獲されています。2020年度資源評価では2015～2019年の資源量の推移から資源動向は減少としており、伊豆東岸定置網における上半期漁獲量も2015年以降減少傾向にあります。資源水準は高位であることから、今期の来遊量は前年並みと予測しました。

（鈴木勇己）